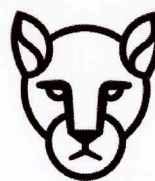


グアテマラ・カフェ・プーマとSDGs

カフェ・プーマは、ボルカフェグループのサステナビリティの取り組みであるボルカフェ・ウェイを通して、シエラ・デ・ラス・ミナス地域の生産者と、昨今特に中南米で少なくなっている、日本人の好むバランスの取れた丸みのある柔らかいカップが特徴の伝統品種を栽培しています。



この地域は、絶滅危惧種であるプーマの棲息地とかぶっており、彼らの生態系にも配慮しながら、高品質の珈琲の生産を進めています。

SDGsの観点からは具体的には、下記の項目が該当します。

1 貧困をなくそう



以前は、手前のキャッシュが必要で仲介業者に安く買い叩かれていたが、ボルカフェ・ウェイのフィールドスタッフが地道に、生産者に資金繰りを教えたり、高品質なコーヒーを生産する方法を指導し、ボルカフェが品質に従ってプレミアムを払っているため、収入が増え、支出を管理し始め、安定した生活に向かっている。

5 ジェンダー平等を実現しよう



ボルカフェ・ウェイの取り組みでは、男女の区別なく、やる気のある生産者であれば、誰でもボルカフェ・ウェイのセミナーなどに参加できるため、この地域に限らず、女性が積極的に参加している。

13 気候変動に具体的な対策を



ボルカフェ・ウェイの取り組みとして、この地域の生産者には、ハイブリッドに比べて少ない肥料で育つ伝統品種を植え、肥料や農薬の使用の最適化、間隔を開けて畝を作る方法などを教えており、森と共生してコーヒーを生産している。

15 陸の豊かさも守ろう



そして、このコーヒーの売上の一部（約23円/kg）が野生プーマの保護団体であるパンテラ・グアテマラに寄付され、彼らがプーマの棲家となる原生林や、その生態系を保護する活動をしている。

